



りすぐみ だより



令和 7 年 6 月 1 日発行

アジサイの花が少しずつ色づき始める季節となりました。

先月は新しい生活に少しずつ慣れていけるように、連休明けから園での生活リズムをいつもの生活へ整えながらゆったりと過ごしていきました。天気の良い日は、戸外にたくさん出かけました。どの子ども戸外に出ることが嬉しいようで、保育者が靴下ケースを持ってくると自分の靴下を探したり、履かせて欲しいことを仕草や声で訴えたりするようになりました。支度の流れが分かってきて靴下が履けるとカラー帽子を探してキョロキョロとしている子、自分の靴入れの場所を覚えてきた子もいます。かけっこをしたり、シャボン玉を追いかけたり、園庭では滑り台や汽車などの遊具でも遊びました。探索をして見つけた小さな実や葉っぱ、石等を拾い大事に握りしめていたり、アリやダンゴムシを観察する等、保育者と一緒に好きな遊びを見つけて楽しんでいます。また、歩行の様子を見ながら散歩カーを降りて保育者と手をつないで歩くことも少しずつ取り入れています。

6月は気温と湿度が上昇してきます。まだ気候の変化に慣れないため体調を崩しやすい季節になるので、体調の変化に注意して過ごしていきましょう。室内では手先を使った遊びをし、雨の合間には散歩に出て遊んでいきたいと思います。

〈今月のねらい〉

保育者と一緒に、つまむ・握る・すくうなど手先や指先を使った遊びをする。

〈活動予定〉

戸外遊び、運動遊び（上る下りる、またぐ など）

手先の遊び（ポットン落とし、シール貼り、すくい遊び、粘土 など）

“いっしょ” にやってみよう

着替えを大人に全てやってもらっていた子ども達ですが、保育者がズボンに足先を入れると自分で足を動かして通そうとするなど、大人と一緒に行動する姿が見られ始めています。

自分で着脱することへの意欲がもてるように、「右手がでたね」「足はどこかな」など、体の部位を知らせながら、やさしく声掛けをすることを心掛けています。ぜひお家でも、一緒にやってみて下さい。はじめは、おむつ替えの際にズボンの脱ぎ着から始めると取り組みやすいかもしれません。お家の方に褒められることが、子どもにとって一番の励みになると思います。

少しでもできたら褒めて

意欲を育てていきたいですね。

